

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

ろうどくした しょうく において、ぜんどのう の しゅ (swt) は つげて おられます。「あなた に けいじ した けいてん を ふくしょう し、れいはい の つとめ を まもり なさい。ほんとう に れいはい は、ふひんこう や じゃあく を させない ようにする。アッラー を おもい おこす こと こそ、もっとも おおになる こと。アッラー は、あなたがた が なす こと について よく している。」¹

また、ハディース において、よげんしゃ (saw) は「ほんとう に、ふっかつ の ひ、しもべ が さいしょ に せきんに を とわれる こうい は れいはい について である」² と かたっています。

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

れいはい は たて の やくわり を はたし、あらゆる あく から わたしたち を まもって くれます。わたしたち の なか に、かずおおく の まえむき な しゅうかん を はぐみます。れいはい の まえ に おこなう ウドゥ (きよめ) は、ぶっしつてき・せいしんてき な ふじゅんぶつ から みずから を きよめる こと の たいせつさ を おしえて くれます。カアバ に むきあう ことは、せぞくてき な ざつねん を はなれ、しゅ (swt) の せいなる そんざい の おんまえ に すうけい の ねん を もって たつ こと を あらわしています。「アッラーフ・アクバル」によって れいはい を はじめる ことは、せいかつ の あらゆる ばめん において アッラー に ひなん を もとめる こと の じゅうようせい を はつきり と しめしています。れいはい に たつ こと (キヤーム) は、みずから が しんじつ と せいぎ に あゆみ を あわせる もの である こと を しめし、ふせい と よくあつ には はんたい している こと を あらわしています。ろうしょう (キラート) は、クルアーン を ろうどく する の と おなじ ように、その おしえ を じんせい の あらゆる そくめん に いかさなくては ならない こと を おもい ださせて くれます。おじぎ (ルクウ) は、アッラー の おんまえ に のみ あたま を さげる こと を しめし、へいふく (サジダ) は アッラー (swt) に ちかづく こと の よろこび を もたらして くれます。サラーム は きょうだい、しまい に たいする あいじょう を はぐみ、わたしたち の あいだ の へいあん と しんらい を はぐむ こと を おもい ださせて くれます。

しんあい なる むすりむ の みなさま！

せいとう なりゆう が ない かぎり、ムスリム は けつして れいはい を ないがしろ に しては なりません。あと で うめあわせ する つもり で れいはい を さきのばし に する こと は できない の です。この こと について、ぜんどのう の しゅ は クルアーン において つげて おられます。 وَأْمُرْ أَهْلَكَ بِالصَّلَاةِ وَاصْطَبِرْ عَلَيْهَا 「あなた の かぞくに れいはい を めいじ、あなた じん も よく たえなさい。……」³ ムスリム は また、おもいやり や じひ、やさしい ことば や えがお を とおして かぞく の なか に れいはい への あい を はぐむ ぎむ が あります。この てん について、よげんしゃ (saw) は「あなたがた の こども たちが 7 さい に なったら、れいはい を させ なさい」⁴ と かたり ました。さいあいの むすめ ファーティマ (ra) の とびら に ちかづき、「かぞく たち よ、れいはい を しましよ」⁵ と よびかけ、かぞく を れいはい に まねいた の です。⁵

しんあい なる きょうだい、しまい の みなさま！

れいはい によって こころ を かいふく させ ましよ。れいはい によって つみ の おもに から かいほう され ましよ。この よの つかの まの けんそう の なか でも、けつして れいはい を みおとす こと の ない ように しましよ。

ほんじつ の きんよう れいはい の ホトバ を、よげんしゃ から の きつぼう を もって おわります。「だれ で あれ、1 にち に 5 かい の れいはい を おこない つづける こと が アッラー の めいれい である こと を しり、れいはい の ルクウ、サジダ、ウドゥ、じこく を かたく まもる もの は てんごく に いく だろう。」⁶

¹ 'Ankabut, 29/45.

² Nasai', Muharaba, 2.

³ Ta-Ha, 20/132.

⁴ Abu Dawud, Salah, 26.

⁵ Tirmidhi, Tafsir al-Qur'an, 33.

⁶ Ibn Hanbal, IV, 266.